令和7年度　自己評価

安房保育園

項　　目	平均スコア（4段階）
身だしなみはいつも清潔にしている（爪、髪の毛など）	3.5
挨拶は自分から進んで元気よくできている	3.45
時間にルーズにならないよう気をつけている	3.45
季節に合わせた健康管理に気を配っている	3.3
意欲を持って仕事に取り組んでいる	3.45
園の保育理念、基本方針を正しく理解している	3.3
職務上知り得た子どもに関する情報を家族や友人にも話さないようにしている	3.65
子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができている	3.2
朝は特に視診を大切にし、子どもの状態把握に努めている	3.1
子どものありのままの姿を受け入れ認めるようにしている	3.2
子ども１人ひとりに丁寧に関わり、スキンシップを大切にしている	3.1
子どもと同じ高さの目線で、話をよく聞くよう努めている	3.2
ほめる、励ますなど、肯定的な言葉かけを意識している	3.2
子どもの家庭環境や生育歴などを考慮して関わっている	3.2
配慮を必要とする子どもについて、職員間で話し合い、共通理解をもって対応している	3.1
保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	3.4
保育実践の内容や子ども達の様子を写真などを活用して分かりやすく伝える工夫をしている	2.6
個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳などを使って伝え合っている	2.7
子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	2.85
保護者からの様々な要望、意見については安易に受ける、断る、無視するなどしないで園長や主幹保育教諭に報告や相談をしている	3.3
保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚に話を聞き、園長や主幹保育教諭に連絡、報告、相談している	3.35
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	3.65
実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	2.55
中高生の保育体験を受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	2.65
園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	3.35
研修会等には意欲的に参加し、一つでも多く学びを得られるよう意識している	3.05
園の遊具や教材について、どんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	3.25
子ども達の安心・安全に関する危機管理について関心を持っている	2.85
子どもの心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている	3.05
仕事中は自分だけではなく他の職員の仕事にも気を配っている	2.9
子どものいるところでは、不必要な会話を慎み、目配り気配りを怠らない	2.75
保護者同士の交流の大切さを理解し、良好な関係づくりに努めている	2.9
専門的な言葉を極力使わずに、分かりやすい言葉で伝える工夫をしている	3.33